赤色TSマークを貼って





図書力一ドをもらおう!

対象者	荒川区内の自転車安全整備店で 赤色TSマークを取得した荒川区在住の方 ※青色TSマークは対象外
お渡し するもの	図書カード2,000円分(新車購入時に取得した場合は1,000円分) ※原則手渡しですが、新型コロナウイルス感染症対策で 郵送する場合もあります。
申請方法	下記①~③を生活安全課に郵送 ①申請書 ②点検料の領収書写し ③保険加入書写し
申請書の配布	荒川区内の自転車安全整備店、荒川区内の自転車駐車場 (南千住、町屋、三河島、日暮里の各駅前)、区民事務所、ひ ろば館、ふれあい館で配布しているほか、荒川区ホーム ページからもダウンロードできます
注意点	・赤色TSマークの有効期間内に申請してください・申請は、毎年度1人1回まで
問合せ郵送先	荒川区役所 生活安全課 交通安全係 〒116-0002 荒川区荒川 2-25-3 区役所分庁舎2階 ☎03-3802-3111 (内線 489) 詳細や自転車安全整備店の一覧はコチラ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■



赤色TSマークって何だろう?

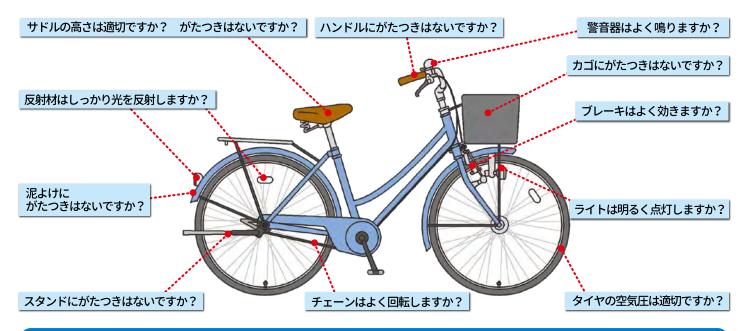


- ▶自転車安全整備士が点検した自転車に貼るシールのことで、安全な自転車である証となります
- ▶傷害保険や賠償責任保険が付いてきますので、万が一の事故に備えることができます

がときしょう

自転車を安全に利用するためには、日頃からの点検整備が不可欠です。 点検整備が不十分な自転車は、自転車利用者にとって危険であるばかりでなく、 歩行者等の周りの人にも危険を及ぼすおそれがあります。

自転車は、日常的に点検整備しましょう! また、年に一回程度は、自転車店等で点検整備してもらいましょう!



自転車の安全マーク(例)



BAAマーク







電動アシスト自転車を利用される方は、以下の点に注意しましょう!

法令の基準に適合している電動アシスト自転車に乗りましょう アシスト比率*が法令の基準を超えていると、法令違反となり、バランスを崩すなど 事故につながるおそれがあります

※人の力に対するモーターによる補助力の比

電源を入れるときは、両手はハンドル、両足は地面

ペダルに足を乗せたまま電源を入れると、踏込を感知してモーターが駆動し、 自転車が動き出してしまうことがあります

発進時はペダルを強く踏み込みすぎないようにしましょう。

思わぬ急発進により、転倒や衝突事故につながるおそれがあります

車体が重いので気をつけましょう

常にブレーキをかけられるようにしましょう

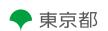
「けんけん乗り」をしないようにしましょう 片方の足をペダルに乗せ、もう片足で地面を蹴って乗る、 いわゆる「けんけん乗り」は、電動アシストの作動で思わぬ 勢いがつき、バランスを崩したり、転倒するおそれがあります















■ 舗装

- ・「安全で歩きやすい」舗装とする
- ・「暖かみがあり自然素材の風合いを活かした材料」とする

□ 前回委員会までの決定方針

・大きく分けて、ブロック状の敷き並べ系と敷き均し系に分かれるが 「歩きやすさ」「滑りにくさ」などを考え、敷き均し系の舗装とする

■舗装の検討対象

歩道舗装



■歩道舗装

(比率)

・いずれも、歩きやすさ・滑りにくさなどは同等であり、十分な性能をもつ

アスファルト系 (脱色アスファルト舗装) セメント系 (自然骨材洗い出し舗装) ガラス廃材利用アスファルト系 アスファルト系(瓦廃材利用舗装) 材料 樹脂系舗装に混ぜた事例(松江市) 中央区・西仲橋 中央区・桜小橋 黒アスファルトに混ぜた事例 (出雲市) ※ガラスによる光の反射を活かして視認性を高める舗装 黒アスファルトに混和した事例 (温泉津温泉) 非透水タイプ (中央区・勝どき街路) 洗い出し主事舗装(中央区・桜小橋) ・製品によっては、骨材(瓦)が表面に出て暖かみの ・自然骨材の風合いを活かした暖かみのある印象となる ・自然素材(骨材)の風合いを活かした舗装 ・光の反射による路面の輝きなどの効果があるが、 ・明るく、落ち着いた色(彩度の低い色)となる ある印象となる ・骨材を結合するセメントが表面にあらわれ 暖かみのある印象とはならない 表情・色 ・瓦の色によって、きつい色(濃い色、彩度の高い色) ・施工当初は結合剤のもつ濃褐色となるが、 白っぽく明るい印象となる になってしまうおそれがある 1年程度で落ち着いた色となる コスト 1.00 2.28 1.00 1.60

塗り分けパターンの比較

パターン **1**







- ・桁から高欄まで一体的な印象
- ・自然の光によって、支柱とブラケットで色の見え方が異なる
- ・紫外線による退色(色あせ)の進行の違いにより 経年で高欄支柱とブラケットが異なる色となる









- ・ブラケットから高欄まで一体的な印象
- •ブラケット付け根の鉛直部材が目立つ
- ・紫外線による退色(色あせ)の進行の違いにより経年で高欄支柱とブラケットが異なる色となる









- ・高欄支柱とブラケットの接続部の形状を工夫することで 塗り分けによる違和感を無くすことができる
- ・紫外線による退色(色あせ)の差をあらかじめ考慮することで時間の変化を受け容れつつ、イメージを保つことができる